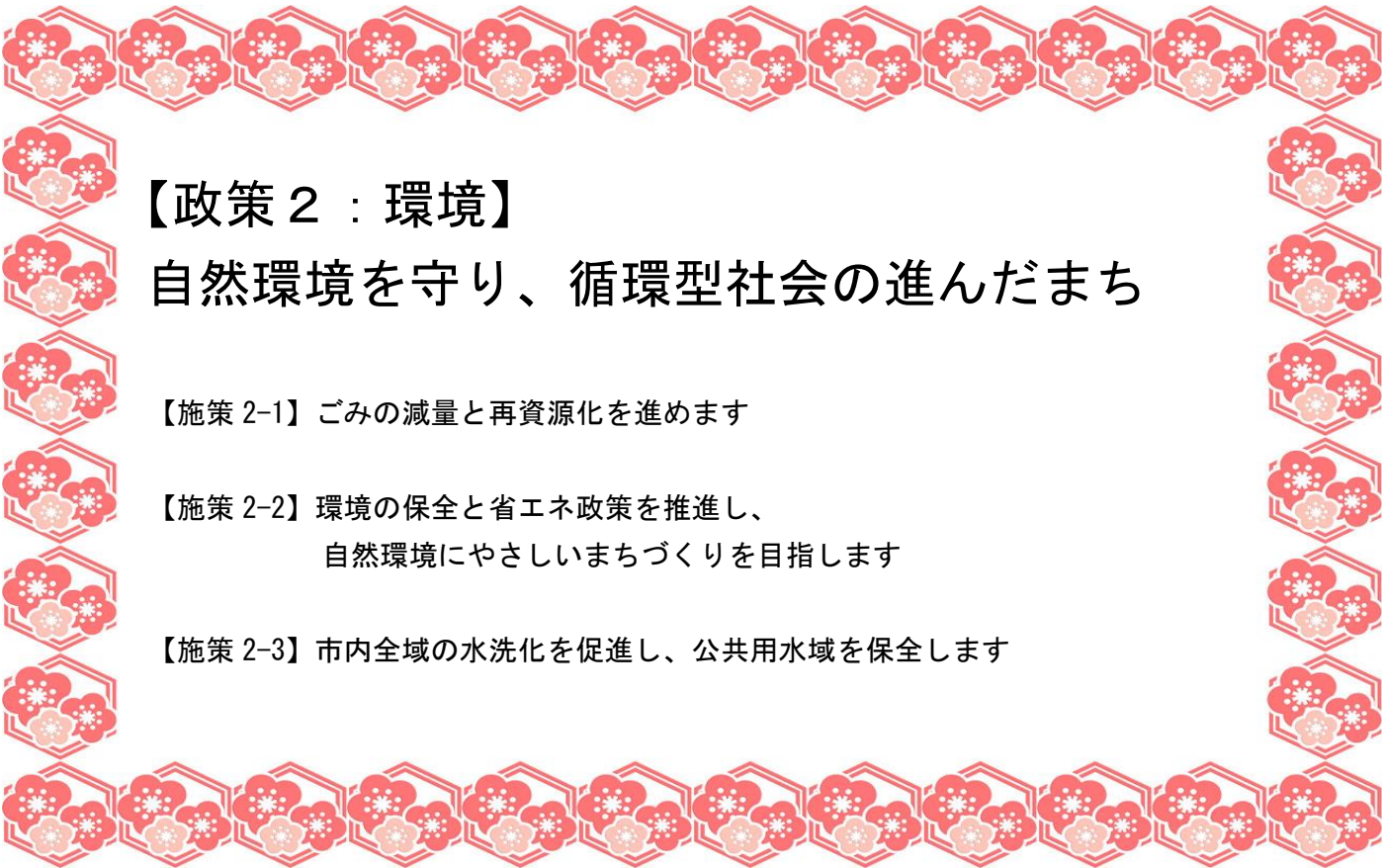


成果説明書



【政策 2 : 環境】

自然環境を守り、循環型社会の進んだまち

【施策 2-1】 ごみの減量と再資源化を進めます

【施策 2-2】 環境の保全と省エネ政策を推進し、
自然環境にやさしいまちづくりを目指します

【施策 2-3】 市内全域の水洗化を促進し、公共用水域を保全します

政策 2	自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
------	---------------------

所 管	市民生活部
関 連	
関 連	

◆ミッション

雄大な浅間山、清流千曲川など人々を感動させる景観や、豊かな森や水資源を守り育み、活かすことにより、住む人・訪れる人が住み心地・居心地の良い環境づくりを進める。

- ◎人を感動させ、癒す力を持つ景観や自然環境を、積極的に活用することにより保全につなげる。
- ◎ごみの減量と再資源化を進め、資源を大切に利用する循環型社会を目指す。
- ◎今ある豊かな自然と環境を、健全な形で未来につなげる。
- ◎水源地域の環境を保全し、適正な排水処理により公共用水域を守る。

◆方 針

- ◎人を感動させ、癒す力を持つ景観や自然環境を、積極的に活用することにより保全につなげる。
小諸の貴重な財産である景観や自然環境を各種事業等で積極的に活用し、自然環境の持つ「人々を感動させ、癒す」力などについて、住む人・訪れる人と一緒に楽しみ・考え・行動することにより、自然環境の健康(育成・保全)へとつなげる。さらに市民の環境意識の向上のため、市民・事業者等の主体的な参加と協働により、市内全域で景観美化活動に取り組み、住む人も訪れる人にとっても住みたくなる美しい環境を維持・保全する。
- ◎ごみの減量と再資源化を進め、資源を大切に利用する循環型社会を目指す。
かけがえのない地球環境を次世代に引き継ぐため、環境への負荷に配慮し、ごみの減量と再資源化を進めるとともに、廃棄物の適正処理の徹底や不法投棄防止のための取り組みを強化し、循環型社会の構築に努める。
- ◎今ある豊かな自然と環境を、健全な形で未来につなげる。
景観条例等各種法令の遵守や「太陽光発電事業の適正な実施に関するガイドライン」等に基づき再生可能エネルギーを推進することにより、小諸の美しい景観や豊かな自然環境及び市民の安全で安心な生活環境との調和を図り、現在の環境を健全な形で未来へつなげる。また、「小諸市気候非常事態宣言」に沿って、市民、事業者、行政が一丸となって、地球温暖化対策に取り組み、持続可能な地域社会を目指す。
- ◎水源地域の環境を保全し、適正な排水処理により公共用水域を守る。
水資源の確保、水の安定供給を図るため、水源地域の環境を保全する。また公共水域の保全のため、地域の状況に応じた水洗化を推進するとともに、水質調査を行い、かけがえのない地下水の汚染を未然に防止する。

政策 2	自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
施策 2-1	ごみの減量と再資源化を進めます

所 管	生活環境課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

ごみの総排出量は、平成28年度以降、ほぼ横ばいでの推移となっており、クリーンヒルこもろの稼働により、安定的にごみ処理ができるようになったが、しかし、可燃ごみの排出量は年々増加しており、それに伴いごみ処理経費も増加傾向となっている。また、資源物の再資源化は、店頭での回収などを含め定着してきているが、可燃ごみへの混入が見られることから、ごみの分別の徹底と減量に早急に取り組む必要がある。

不法投棄の防止に向けては、定期的なパトロールの実施や監視カメラの設置、啓発などの活動を行っているが、なかなか無くならないため、対策についての早急な検討が必要である。

◆方針

目的
豊かな自然環境を守り、循環型社会を形成するため、市民、事業者と行政が連携、協力し、食品ロスの削減への取り組みと、3R(Reduce、Reuse、Recycle)の徹底により、ごみの減量と再資源化を積極的に推進する。このことにより、ごみ処理費用の抑制と温室効果ガスの発生抑制に努める。

◆令和3年度重点方針と目標

ごみ減量アドバイザー、衛生自治会と連携し各区での分別指導や広報等をおして市民への情報提供を行い、食品ロスの削減や資源化を進め、ごみ排出量の削減を図る。合わせて、廃棄物減量再資源等推進市民会議において、次期ごみ処理基本計画策定に向け現状分析を進める。

不法投棄防止に向け、広報での啓発を行うとともに、有効策の研究を行う。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①ごみの分別の徹底が市民や事業者浸透し、再資源化が推進され、ごみの排出量が年々減少している状態。
②不法投棄がなくなり、ごみのないきれいな街や、郊外の景観が保たれている状態。
③クリーンヒルこもろへのごみの搬入量が減少し、安定的かつ経済的に運営され、周辺への環境負荷が低い状態。

◆実績

令和3年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別、減量化に向け、広報に毎月記事を掲載するなど、市民への啓発を実施した。 ・不法投棄監視パトロール及び不法投棄ごみの回収を行った。 ・増加する焼却ごみの安定処理に向け、クリーンヒルこもろモニタリング会議を毎月開催した。 ・次期ごみ処理基本計画策定に向け、廃棄物減量再資源化等推進市民会議を開催した。 ・ごみ減量と再資源化を推進するため、民間業者と協定を締結しパソコン・小型家電の宅配便による自宅回収を開始した。 	

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	一人一日当たりごみの排出量(家庭系ごみ、括弧内は事業系ごみを含めた値)						
設定理由	ごみを減らすことにより処理費用の削減と処理時に発生する温室効果ガスの削減につながるから。						
算式						単位	g
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	595(803)	計画	594(800)	593(797)	592(794)	591(791)	
		実績	600(814)	606(813)			
指標名	燃やすごみに含まれる資源物の割合(家庭系ごみ)						
設定理由	ごみをきちんと分別すれば、資源として循環させることができ、ごみ処理経費等の削減につながるから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	28.7	計画	28.4	27.6	26.8	26	
		実績	—	—			
指標名	事業系ごみの年間排出量						
設定理由	ごみを減らすことにより処理費用の削減と処理時に発生する温室効果ガスの削減につながるから						
算式						単位	t
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	3,310	計画	3,270	3,230	3,190	3,150	
		実績	3,167	3,227			

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

	今後の方針	維持
①	ごみ減量アドバイザーや衛生自治会と連携し、各区での分別指導の徹底や、出前講座の実施、広報等の活用により市民への情報提供を図り、食品ロスの削減や再資源化に取り組み、ごみ排出量の削減を進める。	
②	事業系ごみの展開調査などにより、事業者への分別指導を徹底し食品ロスの削減や再資源化の推進などによりごみ排出量の削減を進める。	
③	クリーンヒルこもろへの定期及び随時の運営モニタリングにより、計画に基づく業務の履行を確認し運営の安定化を図る。	
④	不法投棄の防止に向け、市民への情報提供と有効な防止策について研究を行う。	

◆個別計画

ごみ処理基本計画／分別収集計画／一般廃棄物処理実施計画

◆特記事項

自然災害等への対応として、R2年度に災害廃棄物処理計画を策定。

施策 2-1 ごみの減量と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
清掃総務費運営費		継続	4			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・4衛生費・2清掃費・1清掃総務費		生活環境課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の適正処理及び資源化に関する情報収集と市民への周知 ・災害廃棄物対策の推進 					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特定財源	国・県支出金	15,722 千円	14,330 千円	15,243 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	6,453 千円	0 千円	0 千円	
指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
活動指標	「ごみ資源収集カレンダー」の発行部数		部	計画 26,300	26,300	26,300
				実績 26,300	26,300	26,300
	衛生委員研修会の開催数		回	計画 2	2	2
				実績 1	0	1
令和3年度 実績			特記事項			
<p>「ごみ資源収集カレンダー」「ごみ資源分別ガイドブック」「市公式ホームページ」のほか、コミュニティテレビこもろ等を活用し、ごみの減量化に関する啓発活動を行った。</p> <p>・小諸市衛生自治会へ交付金を交付し、環境美化活動を推進した。また、衛生委員研修会を開催した。</p> <p>・災害廃棄物処理計画の実効性を高めるため、研修参加等による担当職員のスキルアップ等を行った。</p>						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<p>「ごみ資源収集カレンダー」「分別ガイドブック」「市公式ホームページ」のほか、コミュニティテレビこもろ等あらゆるメディアを活用し、住民に対してごみ処理の現状に関する情報提供やごみの減量に関する啓発を行う。</p> <p>・衛生自治会理事会や衛生委員研修会では、課題解決に向けた地域の先進的な取組を紹介するとともに、現在抱えている課題を共有し、その解決策について協議を行い、それを実践する方法を検討する。</p> <p>・災害廃棄物対策について、環境省のモデル事業等を利用した机上訓練の実施を計画するとともに、災害廃棄物対策に関するセミナーや研修会等へ積極的に参加し、最新の動向や情報を収集し、担当職員のスキルアップを図る。</p>					今後の方針	維持

施策 2-1 ごみの減量と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
浅麓環境施設組合運営費分担金		継続	3			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・4衛生費・2清掃費・1清掃総務費		生活環境課	1:無			
事業概要	一般廃棄物(し尿及びびごみ)の適正処理					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特定財源	国・県支出金	323,157 千円	285,387 千円	260,291 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
活動指標	生ごみの処理単価		円/t	計画 37,400	44,000	44,000
				実績 41,024	44,487	41,212
				計画		
				実績		
令和3年度 実績			特記事項			
<p>・一般廃棄物(し尿・生ごみ)の安定的で経済的な処理体制を持続させるため、運営管理や処理体制について構成市町、浅麓環境施設組合と検討した。</p> <p>・分別徹底を呼びかけ、2,089tの生ごみを収集した。コロナ禍により例年より減少したが、466,640kg(平成30年度の92%)の浅麓エココンボを生産した。</p>						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<p>・今後の施設運営のあり方について、担当部課長会議で検討する。</p> <p>・あらゆるメディアを活用し、住民に生ごみの処理状況について情報を提供し、生ごみの分別の徹底と減量を図る。</p> <p>・令和6年度に多額の改修費用を見込んでいる。</p>					今後の方針	維持

施策 2-1 ごみの減量と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
収集運搬運営事業		継続	2				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・4衛生費・2清掃費・2塵芥処理費		生活環境課	2:有				
事業概要	・一般廃棄物等の収集運搬						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	140,771 千円	137,605 千円	137,797 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	550 千円	0 千円	27,901 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	収集及び運搬単価		円/t	計画	15,200	15,000	14,800
				実績	19,384	19,936	20,426
				計画			
				実績			
令和3年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・収集業務の受託事業者と定期的に打ち合わせを行い、現状や課題の情報を共有し、集積所の不適正排出への対応や、ごみの減量化に向けた取組などについて検討を行った。 ・集積所の不適正排出について、警告シールや掲示板、ごみ資源収集カレンダーを活用し、分別指導を行った。 			令和4年度より不法投棄対策事業を統合。				
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
<ul style="list-style-type: none"> ・収集ルート及び収集方法の効率化を図り、収集及び運搬業務に係る経費の削減を図る。 ・メディアやお知らせシールを活用し、排出ルールの徹底を図る。また、住民の目線に立ち、お知らせシールの記載内容を研究し、より効果的なものとしていく。 							

施策 2-1 ごみの減量と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
塵芥処理施設管理事業		継続	5				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・4衛生費・2清掃費・2塵芥処理費		生活環境課	1:無				
事業概要	一般廃棄物最終処分及び浸出水の適正処理						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	3,031 千円	4,414 千円	3,270 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	526 千円	1,001 千円	0 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	残渣の埋立量		t	計画	0	0	0
				実績	0	0	0
				計画			
				実績			
令和3年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・エコパークみかけを含んだ野火附廃棄物埋立処理場の適正な維持管理を行った。 ・水質検査、ダイオキシン等の検査を実施し、適切な水処理に努めた。 							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
野火附廃棄物埋立処理場(エコパークみかけを含む)の適正な施設管理を行う。							

施策 2-1 ごみの減量と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
不法投棄対策事業		継続		7			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・4衛生費・2清掃費・2塵芥処理費		生活環境課		1:無			
事業概要 不法投棄防止対策							
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	2,874 千円	69 千円	2,390 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	2,874 千円	69 千円	2,390 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	不法投棄ごみの回収量		kg	計画	15,000	14,500	14,000
				実績	13,258	9,953	8,965
				計画			
				実績			
令和3年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄監視パトロール及び不法投棄ごみの回収を行った。 不法投棄多発箇所には、不法投棄防止看板や監視カメラを設置し、不法投棄の防止を図った。 			令和4年度より収集運搬運営事業へ統合。				
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> 関係機関や衛生自治会、区と連携し、不法投棄多発箇所を重点的にパトロールし、不法投棄防止啓発看板や監視カメラを設置する。 ポイ捨てや不法投棄をされない環境づくりに向け、衛生自治会を通して、住民に土地の適正管理について啓発を行う。 					今後の方針	廃止	

施策 2-1 ごみの減量と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
廃棄物減量リサイクル事業		継続		6			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・4衛生費・2清掃費・2塵芥処理費		生活環境課		2:有			
事業概要 <ul style="list-style-type: none"> ごみの減量やリサイクルの施策を検討する市民会議の開催 ごみ減量アドバイザーの養成と地域における環境学習等の活動の推進 資源物の適正なりサイクル処理 食品ロス削減の推進 							
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	7,603 千円	6,505 千円	5,976 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	7,603 千円	6,505 千円	5,976 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	ごみ減量アドバイザーの人数		人	計画	15	15	15
				実績	10	10	10
				計画			
				実績			
令和3年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> 市民会議において、燃やすごみの増加等、当市が抱える課題について検討した。 会議、学習会を開催し、ごみ減量アドバイザーの養成を行った。 							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> ごみ減量アドバイザーを地域の各世代が集まる集会や場所(区総会等の各種会議、イベント)に派遣し、市民に環境学習等を行う。また、出前講座を積極的にPRし、利用促進を図る。 ごみ減量アドバイザーと衛生自治会の意見交換会等を行い、両者の連携を図る。 地域におけるごみ減量アドバイザーの人材発掘とその育成を行う。 資源物の安定的かつ経済的なりサイクルについて情報を収集する。 食品ロス削減について、国や県の計画と取組を踏まえ、施策を検討する。 					今後の方針	維持	

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
クリーンヒルこもろ運営事業		継続	1				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・4衛生費・2清掃費・2塵芥処理費		生活環境課	1:無				
事業概要	燃やすごみの焼却及び資源物のリサイクル処理						
投入指標			令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	年度別事業費		263,714 千円	281,587 千円	289,745 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	123,787 千円	159,199 千円	110,911 千円		
一般財源		139,927 千円	122,388 千円	178,834 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	家庭系燃やすごみの年間排出量		t	計画	4,890	4,885	4,880
			実績	5,091	5,113	5,126	
	事業系燃やすごみの年間排出量		t	計画	1,991	1,980	1,970
			実績	2,215	2,175	2,246	
令和3年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・排ガス自主規制値を順守した施設運営を行った。 ・毎月運営モニタリング会議を開催し、適正管理に努めた。 ・小中学生の施設見学等でクリーンヒルこもろの環境学習スペースを活用した環境学習を行った。 							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> ・運営モニタリングにより、業務実施計画書及び業務計画書に基づく業務の履行について確認し、精査する。 ・クリーンヒルこもろの環境学習スペースについて、掲示物を適時更新して充実させ、環境学習の拠点として活用する。 ・毎月1回、事業系ごみ(燃やすごみ)の施設搬入時展開検査を実施し、排出事業者及び収集運搬許可事業者に指導を行う。 					今後の方針	維持	

事務事業名			新規・継続		
清掃総務費給与費			継続		
会計・款・項・目			所管課		
一般会計・4衛生費・2清掃費・1清掃総務費			生活環境課		
投入 指標		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		年度別事業費	37,402 千円	42,247 千円	40,949 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	37,402 千円	42,247 千円	40,949 千円	

政策 2	自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
施策 2-2	環境の保全と省エネ政策を推進し、自然環境にやさしいまちづくりを目指します

所 管	生活環境課
関 連	都市計画課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

地球温暖化の影響とみられる気候変動による異常気象が、世界各地で報告され、国内においても、近年類をみない気象異常が頻発し、小諸市にとっても極めて深刻な脅威となっている。未来を担う世代に、持続可能な社会を引き継ぐためには、市民、事業者、行政それぞれが危機感を共有し、地球温暖化の原因であるCO2の削減に向けた取り組みを行うことが求められている。

そのためには、市民・事業者への情報提供と啓発により、環境に対する意識を高めていく必要がある。また、再生可能エネルギーの推進は、住民の合意形成を図り、今ある自然環境や景観との調和を図る必要がある。

◆方針

目的

今ある自然景観を守り育て、地球温暖化防止に努めるなど事前環境にやさしいまちづくりを推進する。そのために、市民・事業者・行政が環境に対する意識を高め、それぞれの役割と責任を認識し、省エネルギーの徹底や環境や景観、地域との調和を図りながら、再生可能エネルギーの活用を促進し、CO2の削減に取り組む。

◆令和3年度重点方針と目標

- ①太陽光発電設備設置事業者に対しガイドラインに沿った事業の適正実施を指導し、地域との合意形成が成され自然環境と調和した再生可能エネルギーの推進を図る。
- ②環境に対する市民の意識を高めるため、クリーンヒルにもろでの環境学習や、環境フェアなど関係機関等と連携し環境学習の機会を確保する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画

- ①地球温暖化など、市民の環境に対する意識が高まっている状態。
- ②小諸の美しい景観や豊かな自然環境が保全されている状態。

◆実績

令和3年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電事業の適正な実施に関するガイドライン・指導要綱により地域との合意形成がなされ自然と調和した事業が行われるよう、事業者に対し指導を行った。 ・環境意識を高めるため、クリーンヒルこもろ等で環境学習を行った。 ・地球温暖化対策としてCO2削減に向け、蓄電池及び電気自動車等の導入に係わる補助制度を創設した。 ・地域環境の保全と動物愛護のため、クラウドファンディング実施により財源を確保するとともに、飼い主のいない猫251匹に対する不妊、去勢手術費の補助を行った。 	

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	長野県SDGs推進企業登録制度に登録している企業の数						
設定理由	各企業が、自らの事業活動が地域に及ぼす影響と社会的責任の重要性を認識し、環境に配慮した事業活動を展開することが重要であるから。						
算式						単位	団体
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	3	計画	15	25	35	45	
		実績	15	23			
指標名	市民が学ぶ環境学習の人数						
設定理由	環境に対する市民の意識を高めていくには、環境学習を進めることが重要であるから						
算式						単位	人
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	481	計画	500	1,100	1,200	1,300	
		実績	200	455			
指標名	環境保全やごみ対策など環境衛生の取り組みに対する市民満足度(市民意識調査)						
設定理由	市民の満足度が高ければ、環境施策が住民のニーズに沿っている割合が高いから。						
算式	市民意識調査					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	76.8	計画	77.6	78.4	79.2	80.0	
		実績	76.7	74.5			

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針

維持

<ul style="list-style-type: none"> ①地球温暖化防止に向け全庁をあげてゼロカーボンに取り組むとともに、情報の提供や啓発を行い市民が行う対策に対して助成する。 ②CO2削減に向け、太陽光発電設備設置事業者に対し、「太陽光発電設備の設置等に関する条例(仮称)」を制定することにより事業の適正実施を指導し、地域との合意形成が成された自然環境と調和した再生可能エネルギーの推進を図る。 ③自然環境と生物多様性の保全を図るため、自然環境保全条例の検討を行う。 ④市内事業者を対象に県のSDGs推進企業登録制度への登録やISO等の認証取得を推進し、環境に配慮した事業環境への転換を目指す。

◆個別計画

環境基本計画／共に取り組むCO2削減計画こもろ(地球温暖化対策地域推進計画)
--

◆特記事項

--

施策 2-2 環境の保全と省エネ政策を推進し、自然環境にやさしいまちづくりを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
環境対策費運営費		継続	1				
会計・款・項目		所管課	市長公約事項				
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・4環境対策費		生活環境課	1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車騒音、河川や地下水の水質、大気汚染等の調査の実施 ・再生可能エネルギー及び省エネルギーの推進 ・地球温暖化(気候変動)対策に関する啓発の実施 ・公害防止監視活動の実施 						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	3,066 千円	2,746 千円	2,823 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	1,695 千円	1,727 千円	1,737 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	水質や大気等の検査総検体数(年間)		箇所	計画	169	169	169
				実績	169	169	169
	省エネルギー教室・環境学習の参加人数		人	計画	170	50	100
				実績	60	0	73
令和3年度 実績			特記事項				
<p>・自然環境、生活環境の実態を把握するため、河川水質等定期検査をはじめ地下水検査、大気汚染調査等を実施した。</p> <p>・太陽光発電事業の適正な実施に関するガイドライン、指導要綱により指導を実施した。</p> <p>・オオキンケイギク等の特定外来植物の駆除について啓発を実施した。</p> <p>・再生可能エネルギー導入推進及び気候変動対策のため、蓄電池及び電気自動車に係る補助金要綱を作成した。</p>							
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>自然環境や生活環境の実態把握のため、引き続き河川や地下水の水質および大気の状態調査を実施する。地球温暖化防止のため再生可能エネルギーの利用を促進するにあたり、特に太陽光発電事業については、ガイドラインおよび指導要綱により、自然環境との調和を図りながら事業がすすめられるよう調整を図る。環境保全の取り組みとして、特定外来生物(植物)の駆除にかかる啓発などを引き続き行う。地球温暖化対策に関する啓発を実施する。制定した補助金制度の活用を推進するため、事業者に対しても啓発やPRを行う。</p>							
					今後の方針	維持	

施策 2-2 環境の保全と省エネ政策を推進し、自然環境にやさしいまちづくりを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
環境衛生費運営費		継続	3				
会計・款・項目		所管課	市長公約事項				
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・5環境衛生費		生活環境課	1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・佐久広域連合への負担金の交付 ・浅麓水道企業団への負担金の交付 ・飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助金の交付 						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	31,797 千円	27,312 千円	20,492 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	500 千円	1,243 千円	1,980 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	関係機関が主催する会議の出席回数		回	計画	2	2	2
				実績	2	0	0
	飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助金交付件数		件	計画	20	50	50
				実績	14	170	251
令和3年度 実績			特記事項				
<p>関係機関に対して必要な経費を負担した。</p> <p>飼い主のいない猫の適切な飼育管理のため、猫不妊去勢手術費補助制度により補助金を交付した。また、翌年度の財源のため、クラウドファンディングを実施した。</p>							
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>市民の衛生的で快適な生活環境を維持するため、引き続き関係機関に対して必要な経費を負担する。また、飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助金を用いて、猫の不適切管理に基づく生活環境の悪化を防ぐとともに、愛玩動物の適切な飼育管理および動物愛護の意識高揚を図る。</p>							
					今後の方針	維持	

施策 2-2 環境の保全と省エネ政策を推進し、自然環境にやさしいまちづくりを目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
狂犬病予防事業		継続		4			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・5環境衛生費		生活環境課		1:無			
事業概要	・犬の登録及び狂犬病予防注射の実施						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	402 千円	843 千円	823 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	402 千円	843 千円	823 千円		
一般財源		0 千円	0 千円	0 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	狂犬病予防注射の実施率		%	計画	94	94	94
				実績	85	85	84
				計画			
実績							
令和3年度 実績				特記事項			
・犬の登録と狂犬病予防注射接種を徹底するため広報で啓発した。 ・狂犬病予防注射の実施率向上のため、事前通知後に、未接種犬に対し勧奨を通知した。							
目標の実現に向けた今後の取り組み 関係機関である県保健福祉事務所や獣医師会と協力し、飼い犬の登録の徹底および狂犬病予防注射の接種について周知啓発を図る。							
					今後の方針	維持	

施策 2-2 環境の保全と省エネ政策を推進し、自然環境にやさしいまちづくりを目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
高峯聖地公園費運営費		継続		2			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・6高峯聖地公園費		生活環境課		1:無			
事業概要	・高峯聖地公園の管理運営 ・一般聖地及び合葬式聖地の貸付 ・清掃手数料の徴収						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	9,539 千円	19,019 千円	5,777 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	9,539 千円	9,604 千円	4,011 千円		
一般財源		0 千円	9,415 千円	1,766 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	維持管理業務に係る月平均作業回数		回	計画	6	6	6
				実績	6	6	6
	清掃手数料未納者の人数		人	計画	8	8	8
実績				10	10	10	
令和3年度 実績				特記事項			
・春秋の彼岸やお盆の時期を中心に、聖地公園内の適正な維持管理業務を実施した。 ・清掃手数料未納者に対し滞納整理を実施した。 ・改修が必要な箇所(舗装の剥がれ等)について点検・改修を行った。							
目標の実現に向けた今後の取り組み 霊園にふさわしい環境を維持するため、引き続き適正な管理を行う。 清掃手数料未納の解消に向けて、未納者に対して個別に対応を行う。 聖地完成から年数が経過しているため、適切な改修を実施する。							
					今後の方針	維持	

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
景観まちづくり事業		継続		4			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・8土木費・3都市計画費・1都市計画総務費		都市計画課		1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・景観計画・景観条例・県屋外広告物条例による調整 ・小諸市景観審議会の運営 ・花いっぱい運動の実施 ・公園クリーン活動奨励金の交付 						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	1,932 千円	1,942 千円	2,531 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	1,932 千円	1,942 千円	2,531 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	市民団体による景観まちづくりの活動回数		回	計画	250	250	250
				実績	249	191	215
				計画			
			実績				
令和3年度 実績				特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい運動 参加団体数および苗配布数の維持のため、広報や各団体へ通知し参加を呼びかけた(R3:85団体(R2:83団体)) ・保存木維持管理事業 所有者にパンフレットを送付し、維持管理制度の周知と適切な管理を呼びかけた。(送付は2年に1回。保存樹木78本、保存樹林384.92a) 				令和3年度より事務事業名を「景観まちづくり事業」に変更。(市民の景観意識の醸成・高揚、将来的な市民活動団体の育成につながる事業をまとめる)			
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> ・景観に配慮した建築物等の設置を推進するため、景観計画、景観条例および県屋外広告物条例による調整を引き続き行う。 ・花いっぱい運動について、運動の改善やPRなどに取り組む。また、引き続き市民の方の緑に対する意識の高揚を図るため、参加者からアンケートを取り、今後の取り組みについて検討する。 ・保存木維持管理事業について、保存木登録者に対し、更なる理解を求めめるため、保存木指定の目的等を広報やパンフレットの配布などにより周知を図る。 				今後の方針	維持		

事務事業名			新規・継続		
環境衛生費給与費			継続		
会計・款・項・目			所管課		
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・5環境衛生費			生活環境課		
投入 指標		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		年度別事業費	31,768 千円	29,735 千円	27,197 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	7,008 千円	13,703 千円
	一般財源	31,768 千円	22,727 千円	13,494 千円	

政策 2	自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
施策 2-3	市内全域の水洗化を推進し、公共用水域を保全します

所 管	下水道課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

小諸市内の生活排水処理事業は、7つの処理場はじめ、多くの管路施設と個別浄化槽により運営している。整備状況の指標の「汚水処理人口普及率」は98.7%、利用状況を表す「快適生活率」は91.8%と、整備拡大の時代から利用拡大と施設管理の時代に移り変わってきている。今後は、利用密度の低い未整備区域における整備方針の検討と、普及促進の実施により利用人口の拡大を図るとともに、施設管理の効率化を目指した処理区統合計画の推進と、下水道施設を持続可能な設備としていくための点検・調査と更新をサイクルとした計画の運用を軌道に乗せる必要がある。

◆方針

目的
地理的条件と利用者意向との調整から、未普及地域内の整備方針を見直すとともに、効果的な普及促進活動を模索しながら利用拡大に努め、施設整備の概成と使用料収入の維持・拡大を図る。県単位で取り組む「水循環・資源循環のみち2015」構想の定期的見直し結果に基づく処理区統合計画を推進し、施設管理計画である「ストックマネジメント計画」の実行と併せて、事業の経営基盤の強化を図る。

◆令和3年度重点方針と目標

- 未普及地域の整備方針を決定する。
- ‘水循環・資源循環のみち2015’構想の見直しを長野県と連携しながら実施する。
- ストックマネジメント計画に基づき、支援制度を利用した点検・調査業務に着手する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①市内のすべての地域において、生活排水処理サービスを受けられる状態。 ②生活排水処理サービス未利用者が、サービスの内容を知り、利用に向けた具体的検討ができる状態。 ③‘水循環・資源循環のみち2015’構想が地域状況を反映して見直しされ、構想に沿った統合計画が実行されている状態。 ④すべての汚水管路において、停滞なく汚水が流れている状態。

◆実績

令和3年度実績	
<p>○現地調査と関係者意向確認により管路整備必要路線を把握し、主体的整備を必要とする路線の整備順位計画を作成した。 ○‘水循環・資源循環のみち2022’構想の基礎調査を実施した。 ○ストックマネジメント計画に基づき、大梁幹線内のポンプ設備更新工事発注と管路更生必要区間の調査設計業務を実施した。</p>	

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	快適生活率(長野県下共通の指標の一つ)						
設定理由	生活排水処理サービスの利用を促進し、暮らしの快適さ満足度の向上と汚水放流の減少を目指すため。						
算式	計画処理方式による水洗化人口÷行政人口×100＝					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	91.8	計画	92.5	93	93.5	94	
		実績	92.6	93.2			
指標名	松井川雨水排水路(総合体育館付近)の水質調査による生物化学的酸素要求量(BOD)測定値						
設定理由	生活排水処理サービスの利用状況を二次的に確認するため。 (生活環境課が行う年4回測定結果の平均値)						
算式						単位	mg/L
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1.2	計画	2以下	2以下	2以下	2以下	
		実績	0.75	1.08			
指標名	下水道・浄化槽などによる水洗化の促進に対する市民満足度(市民意識調査)						
設定理由	市民の満足度が高ければ、生活排水処理に関する施策が市民ニーズに沿っている割合が高いから。						
算式	‘満足’+‘やや満足’+‘普通’＝					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	78.1	計画	78.4	78.7	79	79.4	
		実績	76.3	77			

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針

維持

- 令和3年度での事業計画区域見直し案作成を反映して、汚水管路整備順位を調整し工実施する。
- 利用拡大に向けた有効な方法を検討実施するために、普及促進の目的を共有する。
- 農集八満地区において令和5年度から使用料金制度を変更するため、関係する事務の調整を図る。
- ストックマネジメント計画の初年度実績を反映して、第一期残り4年間の計画を見直す。

◆個別計画

流域別下水道整備総合計画／‘水循環・資源循環のみち2015’構想／公共下水道事業計画／社会資本総合整備計画／下水道事業経営戦略／公共下水道事業ストックマネジメント計画

◆特記事項

--

施策 2-3 市内全域の水洗化を推進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
農業集落排水 収益的事業		継続		5			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
農業集落排水事業会計・収益的事業		下水道課		1:無			
事業概要	農業集落排水事業における経営活動に関すること。 使用料の徴収賦課 施設の維持管理 接続率向上 企業債の利子償還 等						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	国・県支出金		331,683 千円	298,419 千円	291,267 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	380,277 千円	358,000 千円	353,338 千円		
一般財源		-48,594 千円	-59,581 千円	-62,071 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	水洗化率		%	計画	85	86	87
				実績	87.8	88.5	89.1
	農業集落排水施設使用料収納率(現年度)		%	計画	99	99	99
実績				99.5	99.5	99.6	
令和3年度 実績				特記事項			
水洗化率89.1% 農集使用料収納率99.6% 八満地区使用料の従量制移行について、地元排水組合総代会にて同意を得た。 森山地区処理場後利用工事の設計業務を実施した。				平成30年度から公営企業会計に移行したため「一般管理費運営費」を「農業集落排水 収益的事業」に変更した。			
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> 各地区的排水処理組合と協力して、未接続組合員に対する普及活動を実施する。 使用料等未納者の滞納額が少ないうちに催告を行い、現年収納率の向上を図る。 八満地区使用料の従量制移行について、令和4年度中に地元排水組合、使用料徴収業務委託先業者及びシステム業者等と連携を密にし、令和5年度に確実に移行できるよう取り組む。 「水循環・資源循環のみち2022」構想に基づき、次期統合に向けて地元排水組合等との協議に取り組む。 					今後の方針	維持	

施策 2-3 市内全域の水洗化を推進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
農業集落排水 資本的事業		継続		3			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
農業集落排水事業会計・資本的事業		下水道課		1:無			
事業概要	農業集落排水事業における施設整備と企業債元金の償還に関すること。						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	国・県支出金		106,939 千円	109,412 千円	111,001 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	44,973 千円	52,904 千円	75,850 千円		
一般財源		61,966 千円	56,508 千円	35,151 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	処理施設管理数		施設	計画	5	5	5
				実績	5	5	5
				計画			
実績							
令和3年度 実績				特記事項			
新規加入者分担金口数19.9口 森山地区の特環への統合について、統合予定を令和4年度末に変更した。このことについて、地元排水組合等に説明を行い、理解を得た。				平成30年度から公営企業会計に移行したため「施設管理費運営費」を「農業集落排水 資本的事業」に変更した。			
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> 森山地区の公共下水道への統合完了に向け、処理施設の後利用や接続工事等が円滑に進むよう関係機関と調整する。 森山地区を公共下水道事業会計へ移管するにあたり、資産の整理と受益地の確定作業を上半期中を目標に完了させる。 「水循環・資源循環のみち2022」構想に基づき、次期統合に向けて地元排水組合等との協議に取り組む。 					今後の方針	維持	

施策 2-3 市内全域の水洗化を推進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
浄化槽設置・維持管理促進事業		継続		4			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・8土木費・3都市計画費・2下水道環境費		下水道課		1:無			
事業概要	公共下水道の認可区域及び農業集落排水の整備区域以外(浄化槽整備区域)で生活排水の処理を行うには、合併処理浄化槽の設置が必要となる。当事業は、この区域内において合併処理浄化槽の設置や維持管理に要する経費に対する補助を実施することで、生活排水による水資源の汚染を防ぐとともに、快適な住環境の実現を促進する。						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定	国・県支出金	46,026 千円	46,727 千円	49,409 千円		
	財源	地方債	6,082 千円	5,694 千円	7,962 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	0 千円	5 千円	0 千円		
	一般財源	39,944 千円	41,028 千円	41,447 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	浄化槽設置後の初回法定検査(11条)適正率		%	計画	—	—	100
				実績	100	100	100
	浄化槽保守点検実施率		%	計画	90	100	99
実績				99.5	99.1	99.1	
令和3年度 実績			特記事項				
浄化槽設置後の初回法定検査(11条)適正率 100.0%			令和2年度より「下水道環境費給与費」、「浄化槽設置整備事業」、「浄化槽維持管理補助事業」の3事業を統合し「浄化槽設置・維持管理促進事業」とした。 令和3年度より活動指標①「浄化槽設置基数」を「浄化槽設置後の初回法定検査(11条)適正率」に改めた。				
浄化槽保守点検実施率 99.1%							
浄化槽法定検査不適正率 5.4%							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き「小諸市浄化槽設置整備事業補助金交付規則」の改正事項について周知するとともに、改正規則に基づき適正に補助金を交付する。 補助金の交付に際しては、申請者にその目的を伝え浄化槽の適正管理につなげる。 広報等を活用し、浄化槽区域内の汲取り便槽からの転換を推進する。 					今後の方針	維持	

施策 2-3 市内全域の水洗化を推進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
公共下水道 収益的事業		継続		2			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
公共下水道事業会計		下水道課		1:無			
事業概要	公共下水道事業における経営活動に関すること						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定	国・県支出金	1,125,653 千円	1,137,252 千円	1,107,833 千円		
	財源	地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	1,197,674 千円	1,197,781 千円	1,165,022 千円		
	一般財源	-72,021 千円	-60,529 千円	-57,189 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	下水道使用料収納率(現年度)		%	計画	99	99.5	99.5
				実績	99.5	99.5	99.6
	公共下水道等接続率		%	計画	92.8	93.5	94.2
実績				92.8	93.8	94.2	
令和3年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> 次年度発注する管渠及びマンホール更生の設計委託及び主要マンホールポンプの更新を行った。 下水道使用料の収納率は99.6%、水洗化率は94.2%となった。 財産処分の事務手続きについては申請済みとなっている状況で、今後の手続き等に関しても、関係市町と協議中。 							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> 施設の適切な維持管理を行うため、ストックマネジメント計画との整合を図る。 集合処理区域で利用されている浄化槽設置世帯に対し訪問等により接続向上を図る。 櫛水みらい小諸と協力して、効率的な収納対策について検討する。 「浅籠地区汚泥処理計画」の見直しを行う中で、運営方針を決定し必要となる事務手続きを行う。 					今後の方針	維持	

施策 2-3 市内全域の水洗化を推進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
公共下水道 資本的事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
公共下水道事業会計		下水道課	1:無			
事業概要	公共下水道事業における施設整備及び財産管理に関すること					
投入指標		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	年度別事業費	996,925 千円	910,372 千円	1,132,796 千円		
	特定財源					
	国・県支出金	108,100 千円	164,700 千円	235,221 千円		
	地方債	393,300 千円	246,300 千円	442,500 千円		
その他	143,597 千円	148,094 千円	25,515 千円			
一般財源	351,928 千円	351,278 千円	429,560 千円			
活動指標	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	受益者負担金・分担金収納率(現年度)	%	計画	98	99	99
			実績	97	98.7	97.2
	未普及地域内の汚水処理方法の決定面積	%	計画	—	85.8	94
			実績	85.7	85.7	81.5
令和3年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・圧送管工事は完了したが、中継ポンプ場工事に関しては現在施工中である。 ・次年度に更新工事を行うため、管渠及びマンホール更生の設計委託を発注を行った。 ・引続き令和3年度も工事発注を行った。 ・令和7年度までの管渠整備箇所の決定を行った。 						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> ・閉塞、道路陥没等の重大事故を回避するべく、ストックマネジメント計画による管路腐食対策工事及び処理場の更新工事を行う。 ・受益者負担金及び分担金未納者に対して、随時に催告書を送付(訪問)して収納率の向上を図る。 ・未普及地区の利用者の意向確認を踏まえて、整備方針を決定する。 ・農集森山地区の統合計画に従い管渠工事等を施工する。 						

事務事業名			新規・継続		
下水道事業会計繰出金			継続		
会計・款・項・目			所管課		
一般会計・8土木費・3都市計画費・2下水道環境費			下水道課		
投入 指標		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		年度別事業費	652,924 千円	630,762 千円	600,492 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	652,924 千円	630,762 千円	600,492 千円	